

科目ナンバリング		U-LAS05 20034 LJ31									
授業科目名 ＜英訳＞		南アジアの政治と社会 Politics and Society in South Asia				担当者所属 職名・氏名		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 中溝 和弥			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	地域・文化(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火4		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
南アジアは現在、大きく変化している。中国と並んで世界経済を牽引する存在として注目を集めるインドでは、下層階層が政治権力を奪権する下剋上の時代を迎えている。これと同時に、ヒンドゥー至上主義者が中央政府を掌握し、少数派であるムスリムに対する迫害がやむことがない。「テロとの戦い」の前哨であるパキスタンでは軍政が倒れ、民主制へ移行した。このように南アジアは、例えば民主主義と紛争・暴力の関係、民主主義と社会の平等化との関係、さらに多様性に富む社会における共生の可能性など、社会科学の重要な課題を考察する上で、貴重なフィールドを提供している。本講義においては、インド、パキスタンを中心とした南アジア地域研究を通じて、世界が直面する貧困、暴力、不平等、人類の共生といった重要な課題に取り組む手がかりを見つきたい。											
【到達目標】											
南アジア世界に関する基本的な知識を身につけた上で、南アジア世界を超えて世界に存在する貧困や暴力、不平等、人類の共生といった重要な課題を考察する手がかりを得ることができる。											
【授業計画と内容】											
基本的に以下の予定に沿って講義を進める。但し、それぞれの回が1回の講義で収まらないこともあるので、適宜修正しつつ講義を行う。											
第1回	「南アジアを学ぶ」										
第2回	「イギリスの植民地支配」										
第3回	「ガンディーの非暴力主義（１）思想」										
第4回	「ガンディーの非暴力主義（２）実践」										
第5回	「インド・パキスタン分離独立」										
第6回	「【インド】政治制度と政党政治の展開」										
第7回	「【インド】経済政策の展開」										
第8回	「【インド】会議派システムの時代」										
第9回	「【インド】アイデンティティの政治（１）カースト」										
第10回	「【インド】アイデンティティの政治（２）宗教」										
第11回	「【インド】宗教暴動」										
第12回	「【インド】競合的多党制の時代」										
第13回	「【パキスタン】軍政と民主化」										
第14回	「【国際関係】南アジアの国際関係」										
第15回	定期試験										
第16回	フィードバック										
【履修要件】											
特になし											

----- 南アジアの政治と社会(2)へ続く↓↓↓

南アジアの政治と社会(2)

[成績評価の方法・観点]

定期試験（100点）において評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

中溝和弥『インド 暴力と民主主義——党優位支配の崩壊とアイデンティティの政治』（東京大学出版会）（独立後のインド政治は、主にこのテキストに基づいて講義します。）

堀本武功・三輪博樹編著『現代南アジアの政治』（放送大学教育振興会）（主に第3・8章を授業で講義します。）

そのほかの文献は、授業中に紹介します。

[授業外学修（予習・復習）等]

予習は特に必要ありません。ただし復習はきちんと行ない、わからない点があれば授業終了後に質問してください。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは特に指定しません。質問や研究相談などあれば、適宜受け付けます。授業後やメールで連絡をください。